

科目名	小児看護学課題研究Ⅱ Special ResearchⅡ in pediatric Nursing		担当教員 (研究室番号)	宮崎 つた子 (207) 前田 貴彦 (206)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修 年次	2年次 前期	科目 区分	専門科目		選択 区分	分野 必修	単位数 (時間)	2(30)	授業 形態	特別研究	科目等 履修生	否
科目 目的	課題研究の実施にあたり、倫理的側面についても検討し、研究を遂行する者としての倫理観を醸成する。また、課題研究計画を実施するために必要な専門的かつ具体的な知識や技術を修得する。											
ディプロ マ・ホリ ン (DP)	主要なDP	3. 地域の特性や変化する社会のニーズを的確に捉え、看護学教育および実践看護学に関する課題を追及していける研究能力を身につけている。										
	関連する DP	6. 看護実践の場における看護専門職者や看護学生に対する教育能力を修得している。										
到達 目標	1. 必要に応じた倫理的配慮を行った上で、立案した計画に沿って必要なデータや情報類を収集することができる。 2. 選択した方法についての留意点や注意事項を理解することができる。 3. 必要に応じて研究フィールドの調整を行い、主体的に研究課題に取り組むことができる。											
成績評価方法 (基準)	取組み状況 (100%)											
教科書	特に指定しない。											
参考書等	必要時に提示する。											
受講者への メッセージ	課題研究に取り組むにあたり、自ら行動する主体的な姿勢を期待します。											
備考	計画実施の前には、研究倫理審査を受審し、研究を遂行する者としての姿勢も育成する。											
学 習 内 容												
【到達目標 1 について】 ・ゼミナールや担当教員等の指導を受け、計画の実施における様々な倫理的配慮について再検討し、必要に応じて研究倫理審査を受審する。倫理審査を受審した際は「承認」が得られるまで、研究計画や倫理的配慮についての検討と申請書の修正を行う。 ・計画に沿って必要な情報類を、指導教員等からの助言を受けながら収集する。												
【到達目標 2 について】 ・課題研究を遂行する上での様々な留意点や選択した方法の注意事項について、指導教員等の助言を受けて理解していく。												
【到達目標 3 について】 ・課題研究を遂行する上で必要となる様々な調整について、積極的かつ主体的に行動する。												